|  |  |
| --- | --- |
|  **照射キャプセル等検査成績書（控）**別記様式第１３ | 標準 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 検査月日 |  　 年　　月　　日 |  | 判　定 |
| 運転サイクル | Ｒ　 － － |  |
| 受付番号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 申込者 | 所　属　名 　　所属長　　印 |
| 担　当　者 　　 Tel |

 **申込者記載事項**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 検 査 項 目 | 検査方法 | 判定基準 | 結 果 |
| 試 　料 | 外 観 検 査 | 目視による。 | 有害な割れ、傷等のないこと。 |  |
| 組 成 検 査 | ミルシート等による。 | 照射申込書に記載されたとおりであること。 |  |
| 重 量 検 査 | 天秤等による。 | 照射申込書に記載された値の±10％以内であること。 |  |
| 試料容器 | 外 観 検 査 | 目視による。 | 有害な割れ、傷等のないこと。 |  |
| 重 量 測 定 | 天秤等による。（試料＋包装材) |  | (g) |
| 漏 洩 検 査 | グライコール試験による。 | 試料容器表面から気泡の発生がないこと。 |  |
| 表面汚染検査 | 直接法又は間接法による。 | 表面密度が0.4Bq／cm2以下。 |  |
| キ ャ プセ ル | 漏 洩 検 査 | ヘリウムリーク試験。 | 溶接構造：１×10-7Pa・m3／s以下。圧接構造：１×10-6Pa・m3／s以下。 |  |
| グライコール試験による。 | 圧接構造：気泡の発生がないこと。 |  |
| 溶 接 部非破壊検査 | 直角２方向のＸ線写真の観察による。 | アルミニウム材料：JIS Z 3105 に定　　　　　　　　　める２級以上。ステンレス鋼材 ：JIS Z 3106に定　　　　　　　　　める１級以上。 |  |

 ＊溶接部非破壊検査及び漏洩検査は、気密を必要とする試料容器又はキャプセルの場合記載する。

 ＊表面汚染検査は、試料が核燃料物質の場合記載する。

 **研究炉利用課記載事項**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| キャプセ　ル | 外 観 検 査 | 目視による。 | 有害な割れ、傷等のないこと。 | 良・否 |
| 表 示 検 査 | 目視による。 | キャプセル番号等必要な記号が記入されていること。 | 良・否 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 算　出発熱量 | 照 射 設 備 名 |  | 発 熱 密 度（W/g） | 申 込 者 保 管 |  |
| キャプセル総重量(g) g(89()(g) |  | キャプセル長（cm） |  |  |
| 発 熱 量（W） |  | 制 限 値（W） |  | 良・否 |
| 線出力密度（W/cm） |  | 制 限 値（W/cm） |  | 良・否 |

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

|  |  |
| --- | --- |
|  **照射キャプセル等検査成績書（正）**別記様式第１３ | 標準 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検査月日 |  　 年　　月　　日 |

|  |
| --- |
| 研 究 炉 利 用 課  |
| 課　長 | T L | 担　当 |
|  |  |  |

 | 判　定 |
| 運転サイクル | Ｒ　 － － |  |
| 受付番号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 申込者 | 所　属　名 　　所属長　　印 |
| 担　当　者 　　 Tel |

 **申込者記載事項**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 検 査 項 目 | 検査方法 | 判定基準 | 結 果 |
| 試 　料 | 外 観 検 査 | 目視による。 | 有害な割れ、傷等のないこと。 |  |
| 組 成 検 査 | ミルシート等による。 | 照射申込書に記載されたとおりであること。 |  |
| 重 量 検 査 | 天秤等による。 | 照射申込書に記載された値の±10％以内であること。 |  |
| 試料容器 | 外 観 検 査 | 目視による。 | 有害な割れ、傷等のないこと。 |  |
| 重 量 測 定 | 天秤等による。（試料＋包装材) |  | (g) |
| 漏 洩 検 査 | グライコール試験による。 | 試料容器表面から気泡の発生がないこと。 |  |
| 表面汚染検査 | 直接法又は間接法による。 | 表面密度が0.4Bq／cm2以下。 |  |
| キ ャ プセ ル | 漏 洩 検 査 | ヘリウムリーク試験。 | 溶接構造：１×10-7 Pa・m3／s以下。圧接構造：１×10-6 Pa・m3／s以下。 |  |
| グライコール試験による。 | 圧接構造：気泡の発生がないこと。 |  |
| 溶 接 部非破壊検査 | 直角２方向のＸ線写真の観察による。 | アルミニウム材料：JIS Z 3105 に定　　　　　　　　　める２級以上。ステンレス鋼材 ：JIS Z 3106に定　　　　　　　　　める１級以上。 |  |

 ＊溶接部非破壊検査及び漏洩検査は、気密を必要とする試料容器又はキャプセルの場合記載する。

 ＊表面汚染検査は、試料が核燃料物質の場合記載する。

研 究 炉 利 用 課 保 管（３ 年 保 管）

 **研究炉利用課記載事項**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| キャプセ　ル | 外 観 検 査 | 目視による。 | 有害な割れ、傷等のないこと。 | 良・否 |
| 表 示 検 査 | 目視による。 | キャプセル番号等必要な記号が記入されていること。 | 良・否 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 算　出発熱量 | 照 射 設 備 名 |  | 発 熱 密 度（W/g） |  |  |
| キャプセル総重量(g) |  | キャプセル長（cm） |  |  |
| 発 熱 量（W） |  | 制 限 値（W） |  | 良・否 |
| 線出力密度（W/cm） |  | 制 限 値（W/cm） |  | 良・否 |

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構